

# さくらやま便り

No.324号 2021年（令和3年）9月15日



## 夏の思い出（広島～山口編）



秋の虫の音が聴こえるようになり  
ました。皆様お元気ですか。

34年前、私は夏休みを利用して自  
転車の一人旅に出ました。スタート  
は当時住んでいた広島県。ゴールは実家のある沖  
縄県です。本州下関までは国道2号線で、九州に  
入ってからはひたすら国道3号線を走って鹿児島  
まで。そこからフェリーで沖縄を目指す5日間の  
旅程でした。

途中、幾つかの忘れられない出来事に遭遇した  
のですが、これから数回に分けてその時のことを  
振り返る小さな旅にお付き合い頂きたいと思いま  
す。少々強引ですが、悪しからず。

朝、陽が昇ると同時に広島を発ち、岩国までの  
国道2号線は瀬戸内海を望む素晴らしい景色を堪能  
しました。結果から申しますと、この旅の期間  
は晴天続きで「夏らしさ」を満喫することができ  
ました。山口県の徳山を過ぎた頃には辺りもすっ  
かり暗くなり、街灯も無く民家も見当たらない山  
間部で野宿することに決めました。一日走り続  
けて体力を消耗しきっていましたので、真っ暗な  
田んぼの際で横になるとそのまま寝入ってしま  
いました。3、4時間経った頃  
でしょうが、ふと何者か私の  
顔に息を吹きかけているの  
に気づきました。その正体が



人間でないことはすぐに分かりました。野犬か狸  
か猪か。何れにしても獣です。獣が私の頭や顔の  
においをまさぐるように嗅いでいたのです。その  
時の生きた心地がしなかったこと。私が汗まみれ  
で風呂にも入らず、獣に近い臭いを発していたの  
でしょうか。じっと動かず死んだふりも限界に達  
した頃、「奴」はようやく離れていきました。

ふと「他の生物に対して人間が持っている優位  
性とは？」と考えます。人格や理性、或いは品性  
等が備わっているから他の生物よりも優れてい  
る。だから、その命を自由に扱える等と思ひ込む  
ことはとんでもない傲慢ではないか。あの夜、私  
は獣に救されたのだと思うと、知らないうちに築  
いた自分の「当たり前」を反省致します。

気が付けば旅は2日目。関門海峡の爽やかな風  
が頬を撫でながら、これから向かう九州へと導い  
てくれているようでした。目指す福岡は目と鼻の  
先。どんなことが待っているのか、明日への期待  
に胸膨らませる22歳の夏の始まりでした。

皆様のご健康を祈りつつ。（施設長 村本英邦）

※ 前号の題、「異国のホタル」の意味を教えて  
下さいとご質問を頂戴しました。知覧では、特攻の  
兵士を「ホタル」に例えると聞きましたので、亡く  
なった米国のパイロットも「ホタル」と表現しまし  
た。きっと知覧はホタルが飛び交う自然豊かな場所  
でもあったのでしょう。

# コロナ対策を考えよう



シャローム横浜  
施設長 高原信夫

ようやくしのぎやすい季節になってまいりましたが、皆様は如何お過ごしですか？

このところ、テレビ

では新型コロナウイルス感染者の急激な増加と、それに伴う重症者の増加で、医療機関が逼迫しているとの報道がされています。この急激な感染拡大は、新型コロナウイルスの変異株であるデルタ株によるもので、強い感染力と急激な症状悪化が特徴で、感染拡大は災害級と表現されています。

## 1 【デルタ株の特徴】

- ① ウイルスの排出量は、従来株の1200倍。感染力は従来株の2倍でインフルエンザの3倍と言われており、空気感染で非常に感染力の強い「水疱瘡」と同程度の感染力があるといわれています。
- ② 感染者はウイルスをまき散らしていません。人混みの中にいると感染する可能性は高くなりますのでご注意ください。
- ③ ワクチン接種後も感染して広がります。

## 2 【対策】

- ① 朝・夕2回の検温をして記録する。

- ② 外出から戻ったら石鹸で手を洗う。
- ③ 飲食の前は必ず手洗いをを行う。
- ④ 適宜、手指用アルコールで消毒する。
- ⑤ 外出時に人が多い場所に行く時や、人と接する時は不織布のマスクを必ず着用する。

## 3 【マスクの着け方】

- ① 手洗い後、装着前に鼻にフィットするようにノーズワイヤーを軽く曲げて鼻筋に合わせて、マスクの表裏を確認する。

- ② ゴム紐が接続されている面を外側としてヒダが下向きになるようにし、顔に密着しているかを確認する。

- ③ マスクでしっかりと顔を覆い、鼻筋にあるノーズワイヤーを抑えながら、下に向かってプリーツを広げて顔に密着させる。

## 4 【マスクの外し方】

- ① マスクを外したら手を洗う。外出後は、特に菌が手に付着していることがあるので念入りに手洗いを行って下さい。そのまま手でマスクを触ってしまうと汚れや菌が顔に付着してしまう恐れがあります。

- ② ゴム紐を摘んでマスクを外し、そのままゴミ箱に捨てる。
- ③ マスクを捨てたら、再度手を洗う。

## 5 【人との距離を保つ】

- ① 新型コロナウイルス感染症は飛沫で感染しますの

で、他の人とは十分な距離を保つ必要があります。通常の会話であれば、飛沫が届きにくい2メートルほどの距離が必要です。

- ② 外食などをする場合は、大人数での会食は避け、互い違いに座る等、向かい合わない工夫が必要です。

- ③ 窓やドアを開けてこまめに換気を行う。
- ④ 電車やエレベーター内など、狭い空間での会話を慎むようにして下さい。

## 6 【健康管理にて自己免疫力を高めよう】

- ① 睡眠不足や食べ過ぎ、ストレスは免疫力を低下させます。生活のリズムを取りながら過ごすことが必要です。

- ② 適度な運動を心掛けましょう。屋外で散歩をするなど、人の少ない場所での運動は健康維持には欠かせません。水分補給をしっかりとって楽しみながら運動を心掛けて下さい。

## コロナ関係のお知らせ

特養3階で発生したクラスターは、15日をもって解除となります。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。引き続き、感染の発症、拡大の防止に向けて取り組んで参りたいと思います。新しい情報は掲示板等でお知らせいたします。不明な点はご遠慮なく事務所にお尋ねください。  
(施設長)

9月生まれの皆様

6日 森 久子 様

7日 自念 喜代子 様

16日 滝口 孝一 様

22日 齋藤 勇夫 様

おめでとうございます

さくらやまのハチミツ

おかげ様で今年のハチミツは完売しました。皆様から「美味しい」と言う評価を頂戴し励みになりました。これから来年に向けて巣箱の消毒やスズメバチ対策、越冬に向けた準備に入ります。また来春、美味しいハチミツが採れましたらお知らせし致します。ありがとうございました。

栄養課：小寺秀偉

営 繕：セグンド・ミゲル



演説力

齋藤勇夫

戦前の政治家は演説哲学を学び訓練を重ねてきた、と言う。言葉に魂が入り、聴衆を魅了する力があつた。

昭和18年10月21日、神宮外苑にて出陣学徒壮行大会挙行、劇的な雨中分列行進を行い、東条英機首相が演壇に立った。「帝国の隆替、東亜の興廢、正にこの一戦に有り、一億国民が一切を挙げて国に報い、国に殉ずるときである。

この尽忠報国の精神ある限り・・・」。朗々と響く一言一句はトーンが稍高く、抑揚がありゆつくりと、心に染み入る一大音楽だった。出陣学徒の壮行を讀める旋律があつた。対する学生代表（東大法学部学生）の答辞「生等（せいらい）もとより帰還を期せず・・・」が終わる頃、感極まった観客席の女子学生達の群れが一斉に競技場に雪崩れ込んだ。劇的一幕だった。



東条英機の名演説は当時レコード盤にて売られ、私は戦後友人から借りて反復聴いた。壮行会での学生代表（東大生）は幸運にも生還

され、長年東大教授を勤め数年前90歳過ぎにて他界された。

昭和26年夏、蒲田駅西口広場を通りすがりに共産党闘士伊藤律氏の街頭演説に出食わした。「ちよつと聴いて行こうか」が一時余り聴き入ってしまった。当時は朝鮮戦争真最中、韓国軍が北朝鮮・中国軍に釜山まで攻め込まれ、日本では共産党が躍進中の時期だった。

「現在、党員の増加速度は飛躍的、如何に刑務所増設を急いでも泥縄である」と、諄々と数字を用い興味深く説明していた。思想の右左は関係なく、演説力の有無が勝負。戦中の弾圧を潜り抜けた伊藤律氏の魂の肉声は胸に重く響いた。彼は間もなく中国へ渡り、何故か再び幽閉・虐待を受け、数十年経て廃人の如く変り果て日本帰国。何も語らず他界された。

日本の現実を顧みる時、眩暈（めまい）がする。広島平和式典にて首相が「核軍縮を進めるために様々な立場の国の橋渡しをする」と述べる一方、「核禁条約には署名しない」と記者に明言。彼の言葉は常に、聴く人の感覚を麻痺させる二重思考。乏しい「演説力」は庶民の信頼を拒絶している。憐れ私たちは、彷徨（さまよ）える子羊である。

※ 似顔絵は齋藤様作です

# 「選挙」

金元知子

ケアハウスのレストランで市長選挙があった。「50人中何人位ありましたか？」と聞いたら38人とのこと。4人は住んでいた所からというので「それは38人に含まれていきますか？」と聞いた。いや別だから全部で42人との事。(入居したばかりで様子が分からないから棄権という人もあったが)

入居者の政治に関する民意は素晴らしい。職員の皆さんと老人ホーム長さんやケアハウス施設長さんの常日頃のサポートのおかげと感動した。



## 夏の思い出写真

この夏、私たちの味覚を楽しませてくれた果物。最近は季節を問わずいつでも食べることが出来ます。夏の思い出と一緒に甘い香りがしてきそうな1枚が撮れました。



## OPENAIR

9月19日(日) 敬老祝善

シャローム桜山では、例年、敬老の日に合わせて「祝膳」とレセプションをご用意致しておりました。

今年はコロナ禍の影響で出し物等は控えさせて頂きますが、日ごろの皆様との交わりに感謝の意をこめて、昼食に「祝膳」と簡単なご挨拶をさせて頂きます。

これからも皆様がお健やかな毎日をお過ごし頂けますように心より願っております。

(当日は平服でお越し下さい)

大畑 繁雄

ぬばたまの  
眠れぬ夜は

古里の

在所の屋号を

詣んじており

小坂 宣雄

8月17日のNHKテレビの天気予報では、西から伸びて来る前線で吹き込む風が、関東地方南西部にも影響を与えるとの事でした。

夜中になって、真っ暗な空を吹き抜ける突風が当シャローム桜山の三階の部屋では大きく響いて聞こえました。「その風の響きに、八十年程以前、小学生になった時から両親と同室で寝ていた私は、隣の部屋で一人寝をさせられるようになりました」。自分の成長の証と嬉しい反面、「蒙古風」の吹く満州南部では強い西風が屋根上を吹き抜ける風音が気になり、中々眠れなかった古い出来事を思い出しました。

当時の少年には恐ろしい出来事で、中々寝付かれない思い出の一つでしたが、嫌な思い出も八十年程の年月が良い思い出として記憶の幅を広げて呉れるものですネ。

